

2021年度

群馬県立県民健康科学大学 看護学部

一般選抜試験問題

# 小論文

群馬県立県民健康科学大学

## 小論文試験問題 1

以下の文章と図は、健康食品・サプリメントと医薬品（飲み薬）を同時に摂取している 2050 名に対して、同時摂取に関する意識調査を実施、解析した学術論文の冒頭部、及び結果の一部である。よく読んで、問 1～問 3 に答えなさい。

病気や介護を予防し健康を維持して長生きしたいという国民のニーズに応え、世界に先駆けて健康長寿社会を実現する目的で、2015 年より「機能性表示食品」制度が施行された。企業の責任で、食品の機能性が表示できるようになり、施行後 3 年を過ぎ、登録件数は 2000 件以上となっている。それに伴い、サプリメントの利用率は、2014 年の 39.8% に対し、2016 年には 66.4% まで増加している。また、2017 年度の健康食品市場規模は前年度比 100.9% の 7,619 億円の見込であり、こちらも増加傾向にある。このように、健康食品の利用が広がる中、医薬品とサプリメントを併用している患者が少なくない（20.4-53.0%）ことが報告されている。このことは、健康食品と医薬品を同時に摂取すること（以下、飲み合わせ）によって生じる相互作用により、有害事象<sup>1)</sup>が引き起こされるリスクが潜在的に高まっている可能性が考えられる。

健康食品に含まれる素材・成分には、医薬品成分と類似あるいは拮抗する作用<sup>2)</sup>を持つものや、医薬品の薬物動態<sup>3)</sup>に影響するものがある。例えば、セント・ジョーンズ・ワート (St John's Wort, 和名：セイヨウオトギリソウ) を含有する製品を摂取することにより、薬物代謝酵素が誘導され、インジナビル<sup>4)</sup>、ジゴキシン<sup>5)</sup>、シクロスポリン<sup>6)</sup>、テオフィリン<sup>7)</sup>、ワルファリン<sup>8)</sup>、経口避妊薬の効果が減少することが周知されている。また、納豆菌による腸内での生合成や、クロレラ、緑葉野菜などに含まれることが知られるビタミン K は、ワルファリンの抗凝固作用<sup>9)</sup>が減弱することが知られており、医薬品の添付文書には併用禁忌<sup>10)</sup>／注意が記載されている。 <後略>

図 A 医薬品と健康食品・サプリメントの飲み合わせについて誰に相談しているか？  
(引用論文図 3 を日本語に改変)

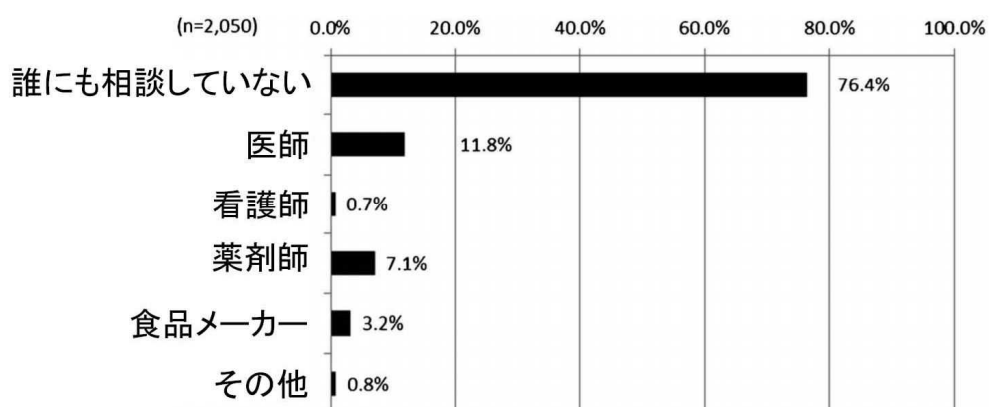
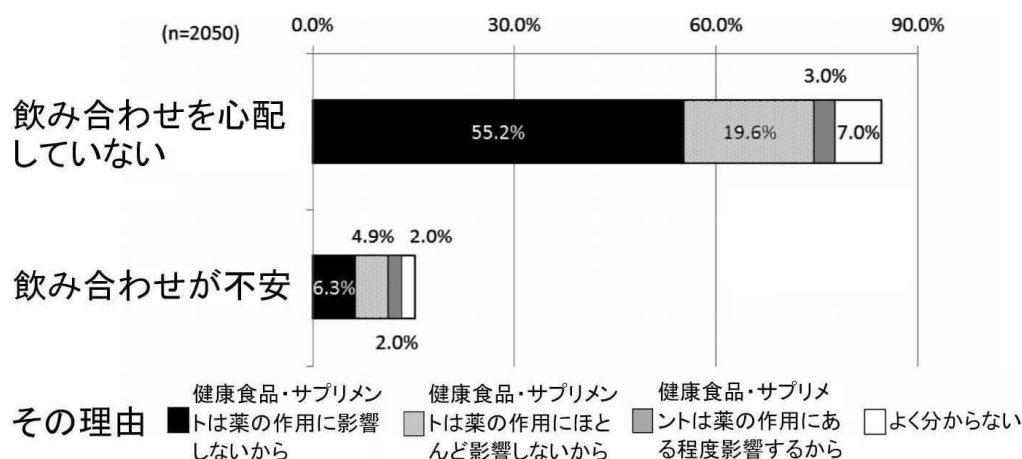


図 B 医薬品と健康食品・サプリメントの飲み合わせについてどのように考えているかとその理由（引用論文図 4 を日本語に改変）



- 注
- 1) 有害事象：本文では、「身体に悪影響を及ぼす」という意味で使われている
  - 2) 拮抗する作用：二つの要因が互いに効果を打ち消し合う作用
  - 3) 薬物動態：投与された薬物が体内のどこから吸収され、どこに移行し、どこで代謝され、どこで排泄されるかを経時的、定量的に示したもの
  - 4) インジナビル：特定のウイルス（レトロウイルス）の増殖を防ぐ薬
  - 5) ジゴキシシン：心臓の収縮力を高める薬
  - 6) シクロスポリン：免疫作用を弱める薬
  - 7) テオフィリン：気管支を広げる薬
  - 8) ワルファリン：血栓（血液凝固）を防ぐ薬
  - 9) 抗凝固作用：本文では「血液凝固を抑制する作用」という意味で使われている
  - 10) 併用禁忌：併用してはいけない事

出典：生田智樹、三浦健、篠塚和正 「健康食品・サプリメントと医薬品の飲み合わせに関する意識調査」日本薬学会 YAKUGAKU ZASSHI 139, 1463-1470, 2019 一部改変

- 問 1 図 A から言えることを、80 字以内で記述しなさい。
- 問 2 図 B から言えることを、100 字以内で記述しなさい。
- 問 3 この文章、及び図 A、図 B の結果を踏まえ、健康食品・サプリメントと医薬品との同時摂取に関するあなたの意見を、400 字以内で記述しなさい。

以下の文章を読み、問1と問2に答えなさい。

<前略>

今年百三歳になる私の伯母は、現在、広島の人施設に入っていますが、九十七歳の年まで広島市内の自宅で一人暮らしをしておりました。メリーウイドー<sup>1)</sup>になって三十数年。「ちっとも寂しいことな  
んかないよ」と、元気に生きてきた伯母でしたが、さすがに九十代も半ばを過ぎたあたりから、家の中  
で転んだり、膝を痛めたり、周囲の心配が募ってきました。

伯母には子供がおられません。その分、姪、甥にあたる私と兄は幼い頃からずいぶん面倒をかけ、実の  
子供のように可愛がってもらいました。さんざん世話になった伯母が転んで怪我をして、救急車で病院  
に運び込まれたと知ったとき、私は広島へ飛んでいきました。

幸い、怪我はたいしたことがなく、意識もはっきりしていたのですが、お医者様や親戚の見立てによ  
ると、もはやこれ以上の一人暮らしは無理だろうという判断が下されました。

<中略>

なにしろ伯母は生まれたときから広島暮らしを長年続け、この地に友達もたくさん住んでいます。広島  
を離れたら、元気を失ってしまうかもしれません。そこで、急遽、地元で老人施設を探すことにしまし  
た。あちこちに問い合わせをした結果、幸運なことに、美しい海の見渡せる宮島の施設に入れてもらえ  
そうな算段となりました。

「もうどこも痛くないのよ。退院したいんだけど」

そう主張する伯母のベッドを囲んで、お医者様、地元に住む親戚と私の三者会談が始まりました。

「内臓はどこも問題ないし、怪我也治られましたので、これ以上はこの病院でお預かりすることが、で  
きんですよ」

「でも先生、自宅で一人の生活に戻ることは……？」

「そりゃ、危険じゃあ、思いますねえ」

「だとすると、やはり施設に入れたほうが、ええのですかね」

「実は宮島にですわね」

「そりゃ、サワコちゃん、一度、一緒に見に行ったほうがええじゃろねえ。ねえ、おばちゃんも、その  
ほうがええでしょう、ね！」

「わたしは……」

「お試し一泊っていうのがあるらしいから、おばちゃんを連れて、一度、泊ってみようかと思うんで  
すけど」

「そりゃ、いいわねえ。そしたら、早いほうがいいでしょう。お医者様、いつまで病院に置いてくださ  
いますか」

「それはまあ、まだ大丈夫ですが」

「わたしはね、ウチに帰りたいですよ。なにしろ全部放ったらかしにして出てきたから。家のなか、く  
ちゃくちゃで……」

「先生、ではなんとか来週までこのまま入院させていただいて、その間で一泊、施設に外泊してもよろ  
しいでしょうか」

「ああ、それはかまわないと思いますが、手続きをしていただいて」

「わたしはね、ウチに帰りたいの……」

「おばちゃん、それは無理。もう一人暮らしは無理なんだって。じゃ、先生。先方の施設に問い合わせまして、それからご報告いたしますんで」

親戚のテツ子さんも私もお医者様も、なにしろコトは急を要するという気持ちがあったので、焦っていました。話すテンポは速く、言い方もきつかったかもしれません。あれやこれやと事務的な会話がスピーディに飛び交うなか、突然、伯母が大きな声で反論したのです。

「ちょっと、わたしの話も聞いてちょうだい！」

思わず振り返りました。おばちゃん、怒ってるぞ。

<後略>

出典 阿川佐和子：聞く力 心をひらく 35 のヒント，文春新書，216-219，2013

注 1) メリーウイドー 日本語に訳すと「陽気な未亡人」の意味

問1 下線部のように、「突然、伯母が大きな声で反論した」のはなぜだと思いますか。あなたの考えを100字以内で述べなさい。

問2 あなたが年代の違う人と会話をする時に気を付けていることについて、あなた自身の経験を踏まえながら400字以内で述べなさい。

群馬県立県民健康科学大学  
看護学部看護学科  
2021年度 一般選抜試験  
小論文試験問題1 解答用紙1

受験番号	氏名

問1


80

問2


100

次ページにつづく



群馬県立県民健康科学大学  
看護学部看護学科  
2021年度 一般選抜試験  
小論文試験問題2 解答用紙1

受験番号	氏名

問1


100

次ページに続く





## 注 意 事 項

- 1 問題用紙は表紙を含めて5枚、解答用紙4枚、下書き用紙2枚、裏表紙（注意事項記載）1枚です。
- 2 解答用紙の所定の欄に、必ず受験番号・氏名を記入してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。下書き用紙に解答を記入しても、採点の対象とはしません。また、解答用紙の「得点欄」には何も記入しないでください。ホチキスは外さず解答してください。
- 4 問題用紙・解答用紙に印刷不鮮明や汚れ等がある場合は、無言のまま手をあげて、監督員の指示に従ってください。
- 5 試験中に質問や用便等の用件がある場合も、無言のまま手をあげて監督員の指示に従ってください。
- 6 試験開始後、30分間は途中退室を認めません。  
30分経過後、途中退室する場合は、監督員の指示に従い、解答用紙を監督員に提出したのち退室してください。
- 7 問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。
- 8 不正行為や、他の受験者に迷惑となる行為を行った場合は、失格とすることがあります。